

■米国：バージニア州知事、10年間のエネルギー計画を公表

バージニア州のラルフ・ノーザム知事は2018年10月2日、州政府の10年間のエネルギー計画を発表した。この計画では、2022年までに最低300万kWの太陽光と洋上風力を開発し、さらに2028年までには洋上風力200万kWの開発を推奨している。州政府は、再生可能エネルギーの拡大により、2022年までに州の再生可能エネルギー調達目標を8%から16%に倍増する計画としている。また計画には、グリッド近代化やエネルギー貯蔵、電気自動車などの新技術に焦点を当て、エネルギー効率目標20%に向けて大手電力会社のDominion Energy社が年間1億ドル、American Electric Powerの子会社Appalachian Powerが1,500万ドルの投資を行うとしている。